

ちいきんぶん 6.5

2026(令和8) No.1472

発行所/株明光企画 高崎市小八木町312-15ビジネスパーク小八木 027(370)2262 027(370)2263
ちいきんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただきます。新規お届けもしくはご不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

まゆずみ眼科医院

●日帰り白内障手術
●神経眼科
●ドライアイ
●コンタクトレンズ

診療時間
午前 8:45~12:30
午後 15:00~18:00

休診日
木曜日・日曜・祝祭日

初診・再診ともに電話での予約可能 ☎027-388-8461




「子どものころから一緒に練習した仲間もいる。インハイ予選でも優勝しよう」と高女にエールを送る高女メンバー

最終戦粘ってつかんだ優勝

決勝戦の相手は、昨年の総体王者・農大二高。接戦にもつれ込む熱戦を制し、頂点に立った。

ソフトテニスの試合は3対戦形式。第1対戦と第2対戦が並行して進む。勝算の高かった第2対戦の敗戦を隣のコートで戦っていた第1対戦のペアも感じ取った。「負けられない」という思いで戦い、勝利をもぎ取った。

一勝一敗で迎えた第3対戦は、何度目でもデュースが続く大接戦に。苦しい場面でも明るい声を掛け合いながらプレーを続ける仲間の姿を見て斉藤慧伸

高崎女子

2年ぶり6度目

高崎女子

5年ぶり4度目

バレーボールに続きソフトテニスも!

総体で県制覇。次なる目標はインハイ出場

春の高校総体ソフトテニス団体戦で、男子は高崎高校(以下、高高)、女子は高崎女子高校(以下、高女)が優勝。限られた時間の中で勉強と競技を高いレベルで両立しながら頂点をつかんだ選手たち。大会を振り返るとともに、それぞれの強みや課題、そしてインターハイ予選への思いを聞いた。

部員全員でワンチーム

二番の勝因はワンチームで戦ったことと斉藤大介部長。大きな声援、前向きな声掛けによる応援は「チームの誇りであり、大きな励み」と胸を張る。

総体前、部員たちは「関東行きを決めたコートに立つ8人だけでなく、

データ分析で練習見直す

今回の勝利を支えたのは、技術力だけでなく、高高校らしい頭脳を使った「分析力」だ。総体の約1カ月前、栃木県の強豪校と練習試合を実施。終了後、部員全員で自分たちの強みと弱みを徹底的に洗い出した。分析の結果、浮かび上がったのは「攻めの単調さ」。そこで「練習メニューを再構築し、前衛と後衛が運動しながら相手を揺さぶる『2人のテニス』を磨きました」と顧問の萩野谷悠更先生は語る。

平日の練習時間は、わずか1時間半〜2時間。私立の強豪校に比べると圧倒的に短い。それでも知恵を絞り、限られた時間で最大限の成果を追求。その積み重ねが技術と判断力を向上させた。今まで勝ちきれず、課題のひとつにあげていた第3対戦が、今回は見事に勝利を決定つけた。

最終戦で示した挑戦者の強さ

秋の新人戦で大敗を喫した強豪・健大高崎。それが決勝リーグ最終戦の相手だった。「実力差が縮んだか開いたか、確認するつもりで挑戦者として挑もう」という顧問・本木洋帆先生の言葉を胸にコートに向かった。

高高と同じく、一勝一敗で迎えた第3対戦。ファイナルゲームでリードしながら追いつかれる苦しい展開となった。それでも前衛の茂野零部長は「思い切った前衛に出る、抜かれても引き返さず、挑む姿勢を崩さなかった結果、『差』は縮まるどころか追い越す形で勝利をつかみ取った。



「勉強との両立は大変ですが、お互い頑張るってインターハイを目指そう」と高女に呼び掛ける高女メンバー

高崎女子高校

「印象的だったのは、選手たちの伸び伸びとしたプレー」と本木先生。茂野部長は「格上の相手だからこそ緊張しなかった」と表情を緩ませる。

少人数ならではの結束力

「柔軟に新しいことへ挑戦できる選手が多い」と今のチームを評する本木先生。総体へ向けて、サブ強化に重点を置いた。さらに前衛はハイボレーとスマッシュ、後衛はコースの打ち分けや角度を意識した練習を徹底した。部員は17人。大所帯ではないがゆえに結束力が強く、少数意見を丁寧に拾うことができる。ペアを固定せず、多様に組み合わせることで実戦経験を積んだことも、対応力につながった。特定のメンバーだけに頼らない、全員で戦う一体感は高女の強みだ。「応援席へ視線を送ることで気持ちを支え、着かせていた」と茂野部長。コート外から飛ぶ前向きな応援が、苦しい場面選手たちを支えた。

ゼロスタートで次の頂点へ

今、視線の先にあるのは、インターハイ予選。「優勝して受け身になるのではなく、チャレンジャーとして戦いたい」と茂野部長は力を込める。支えてくれた仲間、家族、指導者、応援に駆けつけてくれた先生方への感謝の結果で示したいという。

一方「結果だけにこだわるのではなく、一戦一戦をやり切る。その積み重ねで頂点へ上り詰めた」と地に足の着いた姿勢で先を見据える。

挑戦者としてつかんだ県総体優勝。この経験をもとに変え、再び頂点を狙う。

取材協力

高崎女子高校
027-362-2585

高崎高校
027-324-0074



左から本木先生、茂野さん

Don Quixote ドン・キホーテ

2026年 7月11日(土) 14:00開演 (13:00開場)

高崎芸術劇場 大劇場

指揮:湯川絃恵 管弦楽:群馬交響楽団

キリ 米澤真弓 バジル 清瀬千晴

チケット料金(税込・全席指定)
S席 12,000円 (U-25 6,000円)
A席 9,000円 (U-25 4,500円)
B席 6,000円 (U-25 3,000円)
C席 4,000円 (U-25 2,000円)
※4歳以上入場可(チケット要)

好評発売中 HPはこちら

関連イベント
華麗なるクラシックバレエの魅力
映像とトークで紐解く「ドン・キホーテ」の世界
7月1日(水)午後4時から、プレトークイベントを開催します。費用は無料で、Eメールが郵便はがきでお申し込みください。申込先など詳しい情報は公演HPよりご確認ください。

高崎芸術劇場 TAKASAKI CITY THEATRE
JR高崎駅東口から徒歩5分 〒370-0841 高崎市栄町9-1

受付開始日の10:00~24時間受付
高崎芸術劇場 メンバース

電話 027-321-3900 (10:00~18:00/無休)
高崎芸術劇場2Fチケットカウンター(10:00~18:00/無休)
高崎市施設プレイガイド

【主催】一般財団法人牧阿佐美バレエ団 【共催】高崎芸術劇場(公益財団法人 高崎財団)
【後援】群馬県、高崎市、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、一般社団法人日本バレエ団連盟
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等)と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業
独立行政法人日本芸術文化振興会